| 科目名 | 保健医療論Ⅱ | 講師 | 非常勤講師 |
|---|---|---|---|
| 履修時期 | 2年　前期 | 単位数 | 2 |
| | | 時間 | 30 |

＜科目設定理由＞

人々が健康を維持するには、個々人がセルフケア能力を高めていくと共に、公の力で環境衛生への対策をとることが必要不可欠である。看護師は人々の健康の保持・増進を目指して支援する職業であるため、人々の健康維持のために行われる集団への公的な関わりを知ることは必須である。健康を守るための組織的な活動のあり方について概要を学び、人々をとりまく環境が与える健康への影響、疾病予防、地域の健康増進に至るまで幅広い知識を身につける科目とする。

| | |
|---|---|
| 学習目標 | 1. 保健行政の基本的考え方を理解する。<br>2. 地域の人々の健康問題に対応した地域看護活動の概要について理解する。<br>3. 地域看護・在宅看護の場における看護活動を理解する。<br>4. 地域における看護の継続性について理解する。 |
| 学習内容 | 1. 公衆衛生システムと政策（p.22～43）<br>1）日本の公衆衛生システムの特徴と国・地方自治体の役割<br>2）保健所・市町村保健センターの役割、保健所の活動の実際<br>3）看護職の役割<br>4）民間や住民組織の役割<br><br>2. 産業保健（p.236～255）<br><br>3. 感染症対策（p.206～220）<br><br>4. 地域における公衆衛生活動<br>1）精神保健<br>2）難病支援<br><br>5. 市町村保健センターの役割と活動の実際<br><br>6. 母子保健の基盤となる法律・制度と活動の実際<br><br>7. 高齢者保健の活動の実際<br><br>8. 成人保健の活動の実際<br><br>9. 成人保健の動向・傾向（統計の見方） |
| 授業形態 | 講義 |
| 評価方法および評価の観点 | 筆記試験 |
| テキスト | ナーシング・グラフィカ　健康支援と社会保障②　公衆衛生、国民衛生の動向 |
| 参考資料・図書 | ナーシング・グラフィカ　健康支援と社会保障④　看護をめぐる法と制度 |
| 履修上の留意事項・受講条件 | 現代社会の状況についての情報に関心を持ち、新聞・テレビ・インターネットなどで情報収集すること |